



Passport

ギター・ヘッドホンアンプ

HA01

ユーザーマニュアル V1.1



目次

はじめに	3
電源供給	3
安全と保守	3
HA01 信号回路図	3
音声およびデータ入出力	4
HA01 インターフェース概要	4
中央部モード表示ランプ: EDIT, Tuner, Bluetooth/Bypass, Battery life	4
Bluetooth 接続と操作	4
パネル部表示ランプ	5
HA01 操作モード: プリセット vs エディット モード	6
プリセットモード: (電源オン時の標準モード)	6
エディットモード: (2つのボタン(on/off ◀)と(▶ store)を同時押しで切り替え)	7
各部機能説明	エラー! ブックマークが定義されていません。
1. アンプ・セレクト	7
2. ゲイン調整	8
3. トーン調整	8
4. モジュレーション: コーラス/フェイザー	8
5. デイレイ: 3つのパラメーター	9
a. TIME.....	9
b. Fb (フィードバック).....	9
c. MIX.....	9
6. リバース	9
7. IR キャビネット・シュミレーション	9
8. ボリューム・コントロール.....	10
9. チューナー機能	10
10. バイパス機能	10
11. データ/音声出力	10
製品仕様:	11
トラブルシューティング:	11

はじめに

HA01 はアンプシミュレーションとエフェクトを持ち運びしやすい小さなパッケージに収めた、まるで“スイスアーミーナイフ”のように多機能なヘッドホンアンプです。HA01 の主な特徴は:

- マイクロ USB から充電して 5 時間連続使用可能
- 標準フォーンプラグの入力と 3.5mm ヘッドホンジャックの出力
- Bluetooth 接続による他デバイスからの音声再生
- USB 接続でお使いの DAW に録音するデジタル出力(iOS 機器には Apple カメラアダプターをご用意ください)、または USB > TRRS ヘッドホンジャック変換ケーブルでの音声出力
- エフェクトとモデリング
 - プリセットサウンド 10 種類
 - カスタマイズ可能なエフェクト: コーラス/フェイザー、ディレイ、リバーブ、トーンなど
 - IR キャビネット・シミュレーション 10 種類
 - クリーン・バイパス機能
- ギターチューナー機能

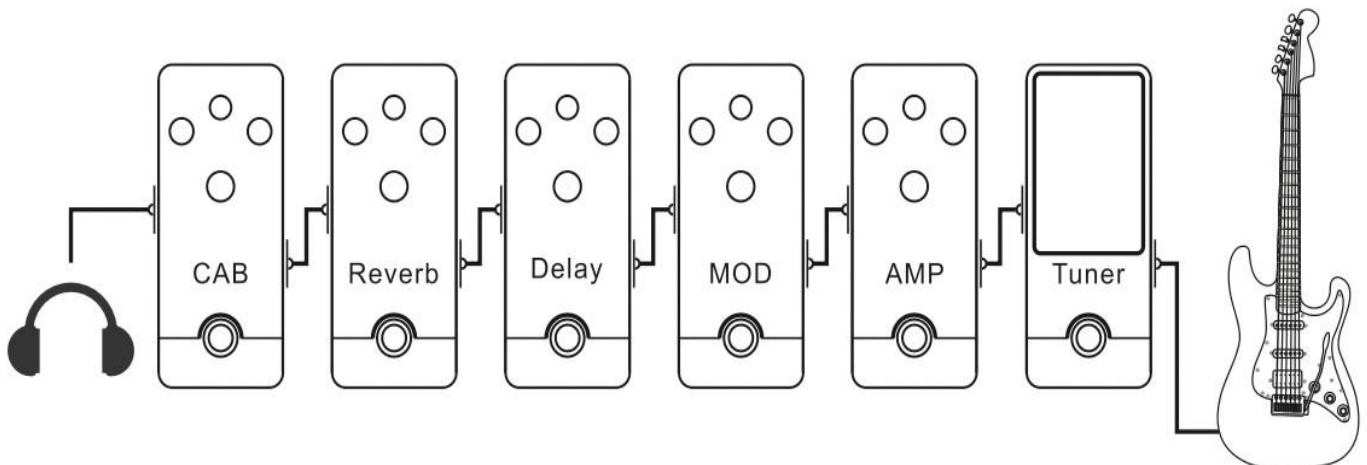
電源供給

- DC5・300mA バッテリー、連続使用時間:5 時間
- 5V・2.0A の給電でのフル充電所要時間:2 時間
- DAW へのデジタル出力時には同時充電

安全と保守

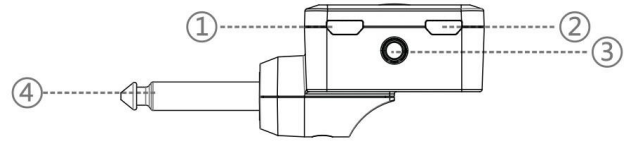
1. HA01 を使用していない時には他の電源の入った機器と長時間接続したままにしないでください。(充電中を除く)
2. HA01 を永くお使いいただく為、以下の状況を避けるようにしてください。
 - a. 高温下での使用・保管
 - b. 強い磁場
 - c. ほこりや汚れの放置
 - d. 高温下または水気のある場所での使用・保管
 - e. 直射日光の下での長時間の使用・保管
 - f. 激しい振動や衝撃

HA01 信号回路図



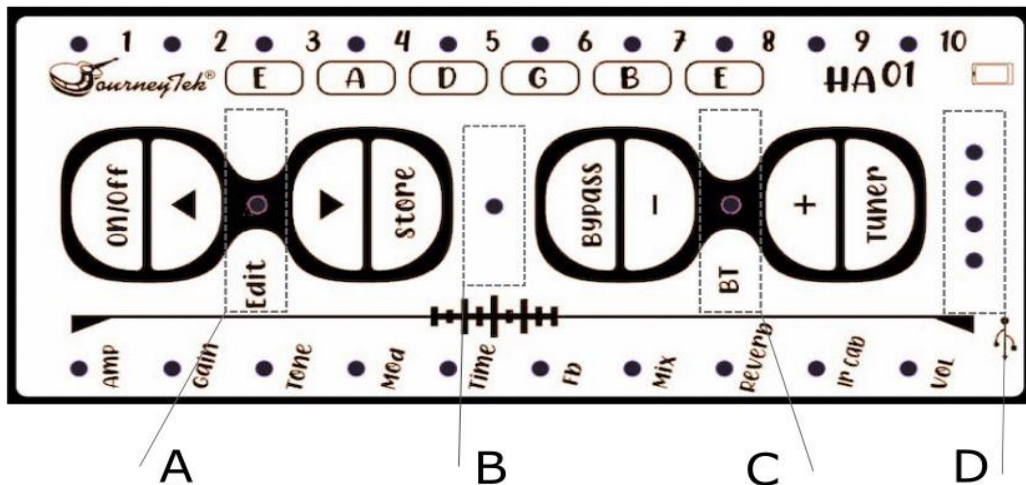
音声およびデータ入出力

1. バッテリー充電及び USB データ出力の共用ポート
 2. Android 及び互換機器用録音出力ポート(マイクロ USB から TRRS ヘッドホンプラグに変換)
 3. 3.5mm ヘッドホンジャック出力
 4. ギター接続用標準フォーンプラグ
- *HA01 は Bluetooth 機器との接続も可能です



HA01 インターフェース概要

中央部モード表示ランプ: EDIT, Bypass/Tuner, Bluetooth, Battery life



- A. EDIT: エディットモードの時に青く点灯します
- B. Bypass/Tuner: バイパスモードの時に青く、チューナーモードの時に赤く点灯します
- C. Bluetooth(BT): 最初に電源を ON にした際に青く点滅し、ペアリング完了時には青く点灯します
- D. Battery Life: バッテリー残量をランプの数で示し、充電時には点滅、充電完了時には消灯します

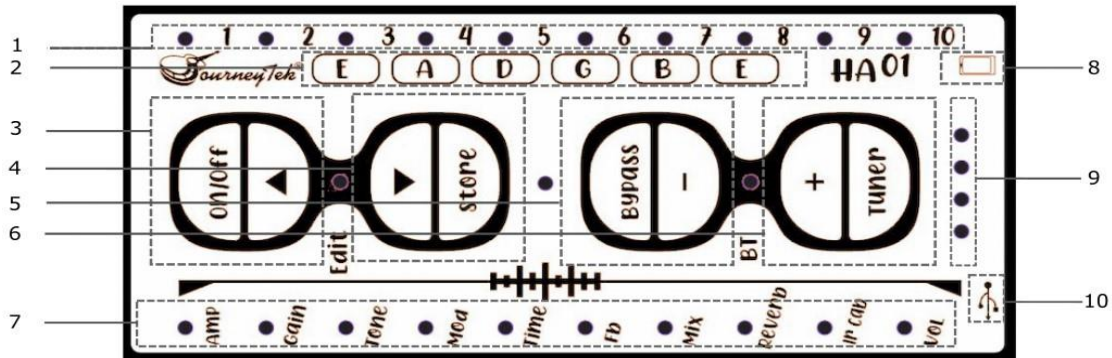
Bluetooth 接続と操作

HA01 はスマートフォン、タブレット、PC などの再生機器と Bluetooth で接続してお好きな音源を再生しながらギターを演奏したり録音したりすることが出来ます。Bluetooth 機能をオン/オフするには**(Bypass-)** と **(Tuner+)** を同時に押します。

最初に再生機器と接続する際には：

1. 再生機器の電源をオフにします。
2. HA01 の電源をオンにすると BT(Bluetooth)ランプが青く点滅します。もし点滅しない場合には、**(Bypass-)** と **(Tuner+)** ボタンを同時に押します。その際にボタンを長押しするとバイパスモードに変わってしまいますのでご注意ください。
3. 再生機器の電源をオンにして Bluetooth 設定で HA01 をペアリングしてください。
4. ペアリングが完了すると BT(Bluetooth)ランプが青点滅から青点灯に変わります。再生音の音量は再生機器側で調節してください。

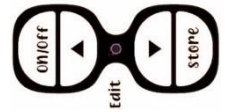
パネル部表示ランプ



1. エフェクト/パラメーター/ボリューム/チューナー表示ランプ:
 - a. プリセットモードでは選択中のプリセットを表示し、+/-ボタンでボリューム調整をしたときには点灯するランプの数でボリュームを短時間表示し、またプリセットモードに戻ります。
 - b. エディットモードでは選択中のエフェクトのパラメーターを点灯するランプの数で表示します。
2. チューナー音階:
 - a. チューナーモードでは音階を自動検出して音階名の上のランプが点灯します。
3. 電源オン/オフおよび左に移動ボタン (on/off ◀):
 - a. ボタンを長押しして電源のをオン/オフします。
 - b. プリセットモードで押すと 1.で選択されているプリセットがひとつ前に移動します。
 - c. エディットモードで押すと、7.で選択されているエフェクトがひとつ前に移動します。
4. 保存および右に移動ボタン (▶ store):
 - a. ボタンを長押ししてエディットしたサウンドを保存します。
 - b. プリセットモードで押すと 1.で選択されているプリセットがひとつ後に移動します。
 - c. エディットモードで押すと、7.で選択されているエフェクトがひとつ後に移動します。
5. バイパスおよびマイナスボタン (Bypass-):
 - a. ボタンを長押ししてバイパスモードに変更します。(エフェクト無しの原音)
 - b. プリセットモードで押すとマスターボリュームが下がります。
 - c. エディットモードで押すと選択中のエフェクトのパラメーターを下げます。
6. チューナーおよびプラスボタン (Tuner+):
 - a. ボタンを長押ししてチューナーモードに変更します。
 - b. プリセットモードで押すとマスターボリュームが上がります。
 - c. エディットモードで押すと選択中のエフェクトのパラメーターを下げます。
7. エフェクト表示ランプ:
 - a. プリセットモードでは選択中のプリセットで使用されているエフェクトを表示します。
 - b. エディットモードでは選択中のエフェクトを表示します。
 - c. チューナーモードではチューニングメーターの表示をします。
8. スマートフォン用出力:マイクロ USB/TRRS 変換ケーブルでスマートフォンなど対応機器へ音声を出力します。
9. バッテリー表示ランプ: バッテリー残量と充電時の状態を表示します。詳しくは前項をご参照ください。
10. データ入出力/充電用 USB ポート: マイクロ USB ケーブルを使用して DAW へのデジタル出力や市販の IR キャビネットシミュレーションデータのローディング、充電をします。

HA01 操作モード: プリセット vs エディット モード

HA01 は主にプリセットモードとエディットモードの2つのモードで操作します。プリセットモードは広く人気のあるエフェクトとキャビネットのセッティングでプログラムした基本モードで、エディットモードではお好みのセッティングにカスタマイズすることができます。



2つのモードは(on/off ◀)と(▶ store) ボタンを同時に押し切り替えし、エディットモードの時には2つのボタンの間にあるEDIT ランプが青点灯します。

プリセットモード: (電源オン時の標準モード)

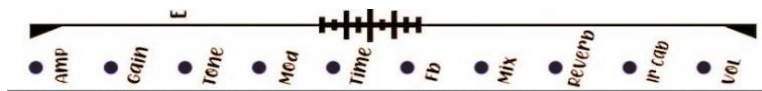
- 最上部の1から10の数字のうち、選択しているプリセット番号の左側にあるランプが点灯します。



- (on/off ◀)と(▶ store) を押し使用するプリセットを変更します。



- 最下部のエフェクト表示ランプのうち、選択しているプリセットで使用しているエフェクトのランプが点灯します。



- (Bypass-)と(Tuner+) ボタンでマスターボリュームを調節します。マスターボリューム調節時には一時的に最上部のランプが10段階で音量を表示します。

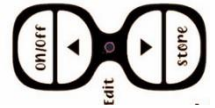


- 工場出荷時のプリセットデータは以下の通りです:

Tone number	Tone name	AMP	GAIN	TONE	MOD	TIME	FB	MIX	REVERB	IR CAB	VOL
1	Clean	3	8	6	5	6	5	2	4	7	10
2	Clean	2	10	8	0	0	0	0	6	10	6
3	Clean	3	5	8	6	7	3	3	4	5	10
4	Overdrive	4	2	7	0	8	3	4	2	1	5
5	Overdrive	5	10	7	3	9	5	3	6	9	10
6	Overdrive	6	5	8	0	8	5	2	3	4	9
7	Distortion	7	9	8	0	0	0	0	3	3	6
8	Distortion	8	4	7	0	9	5	2	2	5	8
9	Distortion	9	10	7	0	9	3	3	3	2	8
10	Distortion	10	8	7	4	8	3	3	4	2	9

エディットモード: (2つのボタン (on/off ◀) と (▶ store) を同時押しで切り替え)

- (on/off ◀) と (▶ store) ボタンを押してエディットするエフェクトを切り替えます。エディットモード時には Edit ランプが青点灯します。



- 現在エディットしているエフェクトの左側のエフェクト表示ランプが点灯します。エディットモードに切り替えた直後は AMP が選択されています。
- AMP と IR Cab では (Bypass-) と (Tuner+) ボタンでアンプとキャビネットシミュレーションを切り替え、選択した番号の左のランプが点灯します。

- (Bypass-) と (Tuner+) ボタンはリバーブとディレイのエディット時にはパラメーターの増減を調整します。モジュレーションのエディット時には 1 から 5 まではコーラスとして、6 から 10 まではフェイザーとしてパラメーターの調整をします。



- エディットデータの保存: エディット終了後に Store ボタンを長押ししてプリセットデータを上書きすることができます。上書きはエディットモードに切り替えた際に選択していたプリセットに対して行われます。

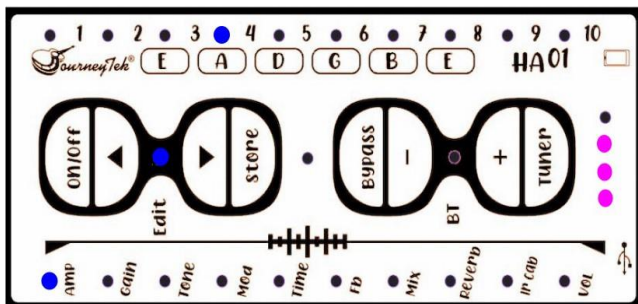


各部機能説明

1. アンプの選択

HA01 は伝統的なプリアンプのモデリングを 10 種類用意しています。AMP セクションから (Bypass-) と (Tuner+) ボタンで選択してください。それぞれのプリアンプ概要は右表をご参照ください。

Tone number	Name	Voice name
1	Gas Station Clean	Clean
2	Power-Zone Clean	Clean
3	Two Stone Coral Clean	Clean
4	Day Tripper OD	Overdrive
5	Two Stone Coral OD	Overdrive
6	US Classic OD	Overdrive
7	Mr Smith Dist	Distortion
8	Two Stone Cardeff	Distortion
9	Randy Devil Dist	Distortion
10	Shittcow Dist	Distortion



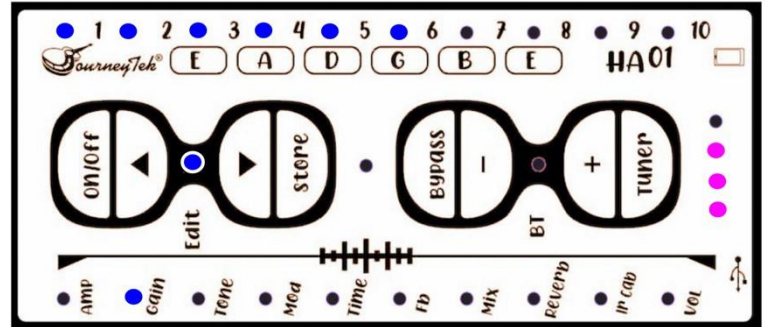
エディットモード選択後の AMP セクションで (Tuner+) を 3 回押すと表示は左図のようになり、4 番の Day Tripper OD が選択されています。

2. ゲイン調整

エディットモード選択後に(▶ store) ボタンを1回押すとAMPからGainセクションに切り替わり、Gainの左側のランプが点灯します。

(Bypass-)と(Tuner+)ボタンでゲインレベルを1から10まで調整します。

右図はゲイン6の状態です。

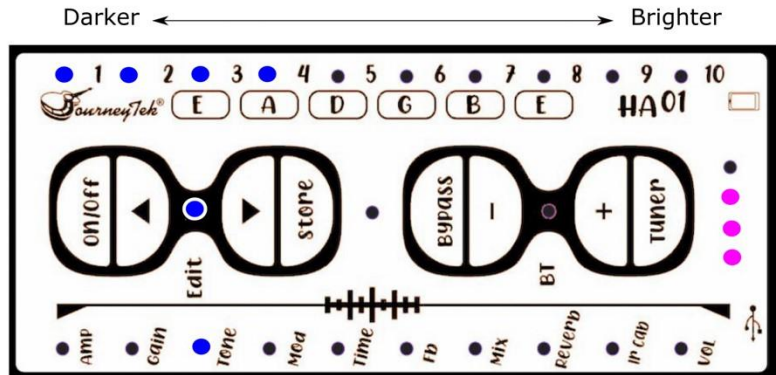


3. トーン調整

(on/off ◀)と(▶ store)を使ってToneセクションを選択します。

(Bypass-)と(Tuner+)ボタンでトーンレベルを1から10まで調整します。数字が小さくなるほどダークに、大きくなるほどブライトになります。

右図はトーンレベル4の状態です。



4. モジュレーション:

コーラス/フェイザー

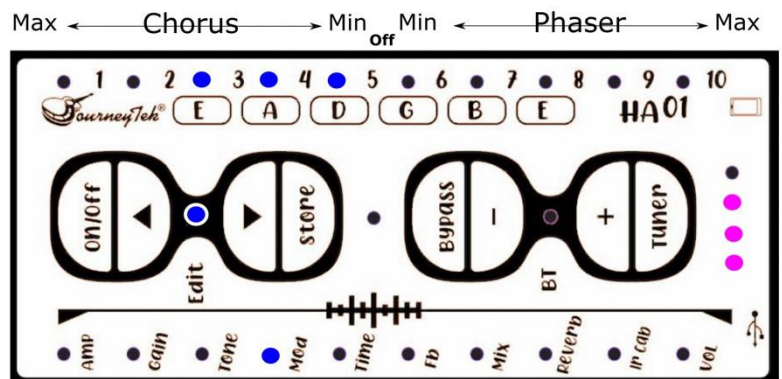
Modセクションではコーラスとフェイザーの設定ができます。

(on/off ◀)と(▶ store)ボタンでModセクションを選択し、(Bypass-)と(Tuner+)ボタンでモジュレーションレベルを調節します。1から5を選択するとコーラスとなり、数字が小さいほど効果が大きくなります。5と6の間では一旦ランプが消えてモジュレーションがoffとなるセンターポジションがあります。

さらに(Tuner+)ボタンを押して6から10を選択するとフェイザーとなり、数字が大きくなるほど効果が大きくなります。

右図のように、どちらのモジュレーションもセンターポジションのoffから外側に向かって効果が大きくなるため、最上部のパラメーター表示ランプは効果が大きくなるほどセンターから点灯するランプが増えていきます。

右図ではコーラスの3が選択されています。



5. デレイ: 3つのパラメーター

a. TIME

TIME セクションではデレイタイムを調整します。1から10まで段階的にタイムが長くなります。

b. Fb (Feedback)

Fb セクションではデレイのフィードバックを調整します。1から10までの調整で10が最大値となります。

c. MIX

MIX セクションではデレイ音のミックスを調整します。1から10までの調整で数字が小さくなるほどデレイ音が小さく(dry)、数字が大きくなるほど大きく(wet)になります。0ではランプが消えてデレイはオフとなります。

エディットモードで各セクションを選択し、(Bypass-)と(Tuner+)ボタンでお好みのレベルに調整してください。

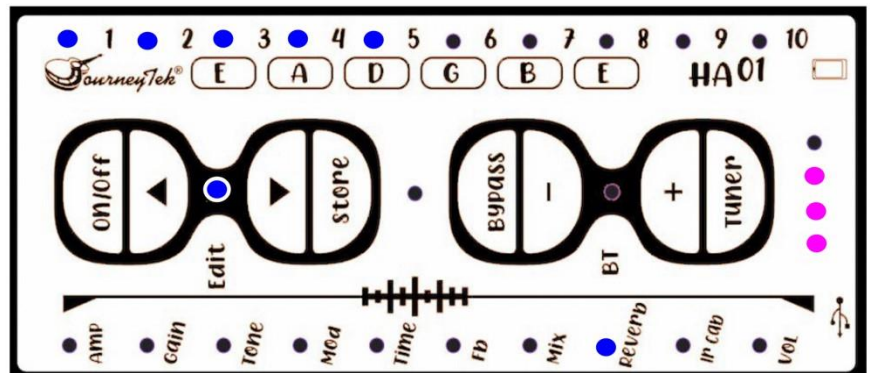
6. リバース

(on/off ◀)と(▶ store)ボタンで

Reverb セクションを選択し、

(Bypass-)と(Tuner+)ボタンでリバースのかかり具合を調節します。

1から10まで数字が大きくなるほどリバースが深くかかります。



7. IR キャビネットシミュレーション

HA01は10種類のIRキャビネットシミュレーションを装備しています。キャビネットの切り替えは、(on/off ◀)と(▶ store)ボタンでIR CABセクションを選択し、(Bypass-)と(Tuner+)ボタンでお好みのキャビネットの数字に合わせてください。下表は工場出荷時のIRキャビネットシミュレーションのリストです。(リストは変更になる場合があります。最新のキャビネットリストはWebの製品ページをご参照ください。)

Number	Name	CAB specifications
1	Line 6 Vetta	1X12
2	Marshall 1960AV V30	2X12
3	Marshall 1960A T75 LA610	4X10
4	VHT Deliverance	2X12
5	Soldano 2x12 V30	2X12
6	Peavey 5150 + Mesa	4X12
7	JSX KT77 + Mesa Stiletto	4X12
8	Diezel V30 SM57	2X12
9	GuitarHack Mesa Trad	4X12
10	Marshall SM81 9100A 1960B	4X12

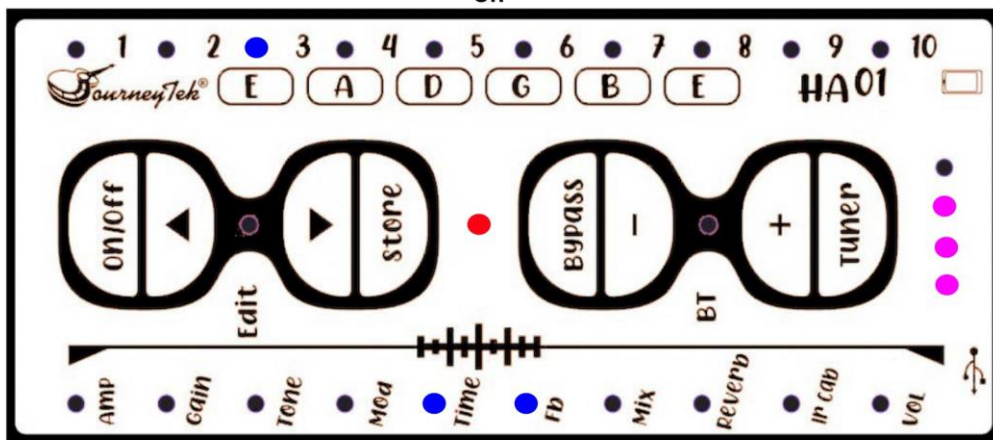
8. ボリュームコントロール

Vol セクションではプリセット毎のボリュームが調整できます。(on/off ◀) と (▶ store) ボタンで Vol セクションを選択し、プリセットモードのマスターボリューム同様に (Bypass-) と (Tuner+) ボタンで 1 から 10 まで調整します。

9. チューナー機能

(Tuner+) ボタンを長押ししてチューナーモードに切り替えます。プリセットモードとエディットモードのどちらからでも切り替えられますが、チューナーモードを解除すると自動的にプリセットモードに戻ります。

- チューナーモード時には中央のランプが赤点灯します。
- チューニングが音階に近づくとき自動検知して音階表記 (EADGBE) の上のランプが点灯します。
- 最下部のランプの光はチューニングが低いと左側 (AMP, GAIN) に移動し、高いと右側 (IR CAB, VOL) に移動します。
- 下図では 6 弦 (E) のチューニングが合い、ランプの中央 2 つ (Time and Fb) が点灯している状態です。



- チューナーモードを解除するにはいずれかのボタンを押してください。

10. バイパス機能

(Bypass-) ボタンを長押ししてバイパスモードに切り替えます。バイパスモード時には中央のランプが青点灯して他のランプは全て消灯します。

バイパス時はすべてのエフェクトがスルーされます。

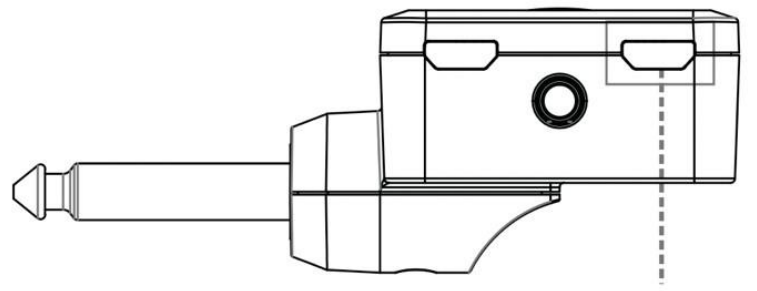
バイパスモードの解除は (on/off ◀) か (▶ store) いずれかのボタンを押してください。



11. データ/音声出力

右図のマイクロ USB 出力に付属のマイクロ USB > TRRS 変換ケーブルを使ってスマートフォンなどの TRRS ジャックを備えた機器に接続して音声を録音できます。

左側のマイクロ USB 出力は付属の USB ケーブルで PC などに接続すればオーディオインターフェイスとして機能し、DAW に直接録音することができます。同時に HA01 への給電もおこないます。



製品仕様:

入力	モノラル標準フォーンプラグ
出力	モノラルヘッドフォンジャック
サンプリングレート	48K/24bit
電源供給	DC5V 300mA パワーアダプター
サイズ	85(D) X 81(W) X 29(H)mm
重量	121g
付属品	説明書リンクカード、マイクロUSBケーブル、 マイクロUSB>TRRS変換ケーブル

トラブルシューティング:

機器が反応しない場合:

演奏中や録音中に HA01 がフリーズした場合には、(on/off3)ボタンを 10 秒間長押ししてから離してください。

Mac 機器と Bluetooth 接続できない場合:

初めて Bluetooth 接続する Mac OS 機器の場合には

1. Mac OS 機器の Bluetooth をオフにする
2. HA01 の電源をオンにする
3. Mac OS 機器の Bluetooth をオンにする
4. HA01 をペアリングする



©Copyright 2021 Journey Instruments Limited